

議 事 録

会議の名称	平成 30 年度第 2 回岩倉市子ども・子育て会議
開催日時	平成 30 年 10 月 16 日（火）午後 1 時 15 分から午後 3 時 15 分まで
開催場所	岩倉市役所 7 階 会議室 7
出席者 (欠席委員・説明者)	出席者：渡邊眞依子会長、宮川美樹会長職務代理者、尾関俊徳委員、町田竜介委員、廣中大雄委員、中島正資委員、小野誠委員、安長美季恵委員、野瀬さやか委員、栗林優子委員、小林麻衣委員 説明者：教育こども未来部長、子育て支援課長、児童グループ長及び担当 コンサルタント：地域問題研究所 欠席者：高宮佐和子委員
会議の議題	1 子ども・子育て支援に関する調査について 2 放課後の過ごし方に関する調査について
議事録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 <input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> その他
記載内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の委員長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した委員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）
会議に提出された資料の名称	資料 1 子ども・子育て支援についてのアンケート調査（案） 資料 2 お子さんの放課後の過ごし方についてのアンケート調査（案）
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	0 人
その他の事項	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1. 開会	
事務局	・平成 30 第 2 回岩倉市子ども・子育て会議を開催させていただきます。
会長	・本日の議題は子育て支援に関する調査についてということですが、これからの子育て、保育について、よりよいものにしていくための調査に向けての検討ということになりますので、忌憚のないご意見を頂戴したいと思います。よろしく申し上げます。
2. 議題	
(1) 子ども・子育て支援に関する調査について	
事務局より、資料 1 「子ども・子育て支援についてのアンケート調査」に基づき、子ど	

も・子育て支援に関する調査について説明	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・(資料1：13ページ) 問15の1は新たに設けた設問ということですが、これは国の方から指示がきているものでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・これについては、特に国、県の方からの指示があったものではありません。他の市町のものを参考に地域問題研究所とも打ち合わせを行ってつくった設問となっています。
会長職務代理	<ul style="list-style-type: none"> ・(資料1：13ページ) 問15-1で「(2) 定期的な教育・保育事業の」となっていますが、そもそも(2)は見当たりません。 ・(資料1：13ページ)「幼児教育の無償化とは」として、説明がなされていますが、これをお母様方が読まれた時、決定事項と捉えられる可能性があることから、決定事項なのかどうかを確認させてください。 ・(資料1：13ページ) 幼児教育の無償化を説明した部分で、「3歳から5歳までの全ての子どもの幼稚園、保育所、認定こども園」となっていますが、保育所という言葉はあまり聞きません。保育園のことと捉えればよろしいでしょうか。また、その次の説明で「子ども・子育て支援制度の対象とならない幼稚園も」となっていますが、前のところで、「全ての」とした上で、この説明でよいのでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・(資料1：13ページ) 私も「子ども・子育て支援制度の対象とならない幼稚園も、同制度における利用者負担額を上限として無償化されます」という部分が分かりません。 ・幼児教育の無償化について分からなかったので、インターネットで調べてみました。幼稚園は上限2.57万円まで、預かり保育も含めると3.7万円までとなっていました。岩倉市は全て負担していただけて、無償化になるのでしょうか。また、幼稚園バスの送迎費、給食の材料費、行事費、外部委託の先生の月謝なども無償化の対象となっているのでしょうか。このアンケートで初めて無償化を知る方もみえるでしょうから、カッコ書きで説明があると正確なアンケート結果になると思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・無償化について、今、無償化の対象とならないところも新制度では無償化になるという意味で「全ての」という言葉を使わせていただきました。 ・保育所について、法律用語では保育園、小規模なところもまとめて、保育所としています。しかしながら、用語の定義(資料1：2ページ)のところでは、「保育園とは」となっていますので、統一性を持たせるため考えさせていただきます。 ・幼稚園の無償化については、「利用者負担額を上限として」となっておりますので、先ほど委員のご発言にありました2.57万円や3.7万円がこの上限に当たるところです。それを上回る部分は自己負担をいただくこととなります。岩倉市で子ども・子育て制度に移行しているところは、認定こども園ですので、保育園はその対象になっています。市内にある二つの幼稚園は対象となっていませんでしたが、上限を設けて対象になるということになります。 ・無償化の決定については、(資料1：13ページ「幼児教育の無償化とは」)2行目に「予定されています」としてありますので、予定の内容を説明している部分となります。あくまで、予定ということを知りやすくなりました方がよいと思いますので、この部分は考えさせていただきます。 ・(資料1：13ページ問15-1)「(2)」については、校正段階のものを出しています。10ページの②を指していますので、「②今後の」とした方が分かりやすいかもしれません。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども・子育て新制度の対象とならないという部分は、保護者の方には分

	かりにくい表現ではないかと思しますので、その辺りも踏まえて検討していただければと思います。
委員	・(資料1:10ページ) 今後の利用意向について、5歳児の年長だった場合、残り数か月だと思いますが、その数か月の意向を記入するのでしょうか。
事務局	・形式的になってしまいますが、記入をお願いすることになります。この設問では2番目、3番目のお子さんについてもそれぞれお伺いする形になっています。
委員	・(資料1:10ページ①の7番) 預かり保育の利用日数と時間について、認定こども園も含めたものでよいでしょうか、あるいは、市内幼稚園、市外幼稚園だけのことでしょうか。
事務局	・(資料1:17ページ) 問18で認定こども園の教育部を含むとさせていただいておりますので、この表現に合わせる形とさせていただきます。
委員	・認定こども園の保護者も幼稚園の預かり保育を書けばよいのでしょうか。
事務局	・保育部の場合はもともと保育ですので時間は預かり枠ですが、この場合は、幼稚園の方が時間以降に預かり時間が発生するというものです。こども園の場合は教育部のみ、預かり時間が発生することになります。
委員	・一般のお母さんだと分かりにくいと思います。
事務局	・そのこともありますので、認定こども園の教育部という表現は問18だけとさせていただきます。あまり書き込み過ぎると分かりづらくなると思い、このようにしました。新制度ではこの部分が前回と変わっているため、表現に悩んだ部分でもありますが、問10に教育部と入れさせていただこうと思います。
委員	・「幼稚園・認定こども園の預かり保育」と書いていただければ分かると思います。
事務局	・中点で区切ってそのように書かせていただきます。
委員	・(資料1:15ページ) 病児保育の部分で「この1年間」となっていますが、遡って1年間なのか、年度初めなのか気がなりました。
地域問題研究所	・問16の1に「この1年間に行った」となっており、年度、4月から利用の方はあまりいらっしやらないと思いますので、遡って1年間ですが、もう少し「この1年間」を強調したほうがよいでしょうか。
委員	・何年何月から何年何月までと書いた方が分かりやすいと思います。
事務局	・「この1年」の後にカッコ書きで、平成29年11月から平成30年10月までといったような書き方にさせていただきます。
委員	・(資料1:10ページ) 利用状況と利用意向について、利用状況は現在利用しているということで、利用意向はこれからしたいということでしょうか。
事務局	・おっしゃる通りです。①は現在の利用状況で、②は今後の利用意向に繋がるというもので、将来、こういったことも考えているといったことをお伺いしています。
委員	・(資料1:10ページ②の1) 設問の文章で「保育園、小規模は保育施設⇒利用している保育園」を「利用したい保育園」とした方が分かりやすいと思います。10ページ、11ページ、12ページも同様です。
会長	・(資料1:10ページ②) 9、10、11番に「現在の」となっていますので、「今後の」に修正願います。
委員	・(資料1:3ページ問3) 就学前の3人のお子さんだけとなっていますが、3人以上はいらっしやらないのでしょうか。
事務局	・4人目以降は空いているスペースにご記入いただくことにしてあります。

	ご住所については、個人情報保護審査会を通してお調べさせていただきます。
委員	・市外の方は対象外でしょうか。
事務局	・該当の市で調査が図られることとなります。
委員	・お子さん1人目、2人目、3人目でそれぞれ利用意向は変わってくるものなんでしょうか。変わらないのであれば、1つでよいのではないのでしょうか。
事務局	・親御さんが回答するところは1つにしましたが、お子さんの状況は詳しく知りたいということで、このようになりました。利用意向に関しては、仮に、それぞれ違うところに通っているお子さんを同じ園に通わせたいといった場合は、現状でそれぞれの園を書き、意向で同じ園を書いていただくこととなります。この部分はメインの部分ですので、このようにさせていただきました。
地域問題研究所	・岩倉市は全員を対象に調査を実施していますが、自治体によってはサンプリングで行うところもあります。また、お子さん1人目だけとしているところもあります。岩倉市は全数調査を前提にしており、前回に倣ってこのような形になっているということをご理解いただきたいと思います。
委員	・(資料1:10ページ) 保育園、認定こども園は名前が出ていますが、幼稚園は「市内幼稚園」となっています。岩倉幼稚園と曾野幼稚園の方はマルが付けられないのではないのでしょうか。
事務局	・新制度の関係で幼稚園を挙げてもよかったのかどうかということがありました。よろしいということであれば、そのようにさせていただきます。5番の市内幼稚園に岩倉幼稚園と曾野幼稚園を入れるということでもよろしいのでしょうか。
地域問題研究所	・名前を入れることの意味をどのように捉えるかですが、集計上それぞれの幼稚園についての分析はないと考えます。現在の社会情勢を見た時、幼稚園が現在のキャパシティを越えるということはない状況です。対して、保育園需要は高まっていますので、保育園がこういったバランスなのかを見ることはあるかもしれないので、各園の名前を入れてあります。答えやすさということで名前を入れることはありますが、その場合は「市内幼稚園(岩倉幼稚園・曾野幼稚園)」といった表記になろうかと思います。
会長	・集計上の問題と回答する側の心情の問題があるかどうかと思いますが、どちらを優先するかということになります。
委員	・うちの園としては、今後、名称として使用していただくことは構いません。
事務局	・心情的なこともあり、市内で最も多く通っている幼稚園でもあるので、入れるべきと判断します。
会長	・外国人への対応はどうなのでしょう。
事務局	・外国籍の方については、項目を絞ってあります。前は、居住地区、お子さんの成年月日、回答いただく方、配偶者の有無、就労状況、現在利用している園、将来的に利用したい園、放課後の過ごし方、児童クラブに預けたいかといったような設問となっています。言語はポルトガル語と英語となっています。
会長	・今回も同じように実施するのですか。
事務局	・前回同様、今回も項目を絞って実施したいと考えています。
委員	・絞ったところが重要なところということでしょうか。
事務局	・そういった設問から集計分析を行って、保育の希望や幼稚園の利用はあるのか、将来的に児童クラブを利用するのかといったところを見たいと思います。

	ます。
委員	・(資料1:13ページ) 選択肢で1から10までの中で、意向として認定こども園に移りたいとする方はどこに書くのでしょうか。
事務局	・先ほど来、認定こども園の保育部と教育部が葛藤していると申し上げましたが、案として、「新たに保育園」のところに「(認定こども園の保育部を含む)」、「新たに幼稚園」のところに「(認定こども園の教育部を含む)」とさせていただこうと考えておりますので、ご意見をいただきたいと思えます。或いは、選択肢に「認定こども園の保育部」、「認定こども園の教育部」の2つを独立させるという考え方もありますので、ご議論願えればと思えます。
地域問題研究所	・この部分は所得階層によって変わってくると思われまますので、正確性を追求する項目ではありません。認定こども園の方が回答するのに困るのであれば、例えば、「新たに保育園・認定こども園保育部」といったような表現でよいのではないのでしょうか。
委員	・保育部や教育部は、認定こども園に通っている親御さんも知らないと思えます。
委員	・幼稚園で預かり保育を手厚くやってもらっているという認識です。
事務局	・(栗林委員の意見を受けて) 中黒点、認定こども園保育部、中黒点、認定こども園教育部といった表記でよろしいのでしょうか。
委員	・教育部が9時から3時で、保育部が3時以降ということでしょうか。
事務局	・朝から仕事をしてみえる親御さんが保育を必要とする時の昔の幼稚園の感覚ですが、昔と申し上げても、今の方は分からないかもしれません。
委員	・平成27年から始まった新制度では、認定こども園の幼稚部、保育部となっていますが、うちの場合はその前の制度からやってきているので、曾野第二幼稚園と子どもの庭保育園という認識で認定こども園になっています。認定こども園の幼稚部、保育部と説明されると伝わりづらい部分があるかもしれません。
事務局	・回答される方が、曾野第二幼稚園であれば、幼稚園にマルを打たれるでしょうし、子どもの庭保育園であれば、保育園にマルを打たれるということになると思えます。ゆうか幼稚園と岩倉北幼稚園は保育部と幼稚部に分かれていますということになります。
委員	・他の子ども園は幼稚部と保育部に分かれていますか。
委員	・うちは旧制度なので、認定こども園曾野第二幼稚園、子どもの庭保育園と名称が2つ付いています。新制度では、幼稚園の中が教育部と保育部になります。
事務局	・曾野第二幼稚園との認識がある方は幼稚園を選択されるでしょうし、子どもの庭保育園との認識がある方は保育園を選択されると思えます。また、岩倉北幼稚園とゆうか幼稚園に幼稚部と教育部を入れておけば、認識を持って選択していただけたと思えます。表記については、中点を入れて表記するという事で、柔軟に対応させていただきたいと思えます。
地域問題研究所	・確認ですが、教育部に通っているお子さんで保育部に行きたいとする意向はあるのでしょうか。
委員	・私は出しましたが、可能性が低いということで諦めました。しかし、実際、異動される方はいらっしゃいます。
事務局	・保護者の方の就労時間にもよりますが、園の定員の状況等を考慮し、ご相談させていただき、ご判断いただくこととなります。 ・13ページはそれでいこうと思えますが、同じ園の中での異動の意向を掴めるかについて考えると、10ページ①の2番は幼稚部、保育部何れもマル

	を打てますが、意向のほうで幼稚部から保育部に変えたいとした場合、見えてこないことになります。ここに全てを入れるのはどうかとも考えます。
会長	・保育の変化を見るのであれば、12 ページの方を分けなければいけないと思います。
事務局	・(資料1：12 ページ) ここで、「新たに」だとか「現在利用しているところから」など、変えたいという回答であれば、変化を求めていることは掴めると思っていますので、こちらには入れておいた方がよいと思います。
地域問題研究所	・教育と保育の区分であれば、幼稚部と保育部とは分ける必要があると思います。 ・問15-1で細かく分けるのであれば、併せて、問15の方も細かくしておかないと前後が分かりません。
会長	・幼稚部と保育部では預ける時間が違うので、そこから読みとれないでしょうか。
事務局	・(資料1：10 ページ) 問15は一番のキモの部分であり、保育のニーズ量を把握するためのものですので、2番の認定こども園の部分は教育部と保育部を分かるようにさせていただきたいと思います。曾野幼稚園につきましては先生とご相談させていただきます。
会長	・問15も改良し、分かるものにしていただくこととなります。
委員	・無償化の目的の中には、働き方改革などもあるかと思いますが、その辺りの質問はしなくてもよいのでしょうか。
事務局	・仕事をすることで、保育園が必要になると理解させていただいております。
地域問題研究所	・問15-1だけの単純集計だけを受けて、ニーズ量と捉えることはできません。利用条件も加味した上で見ないと利用できないニーズまで拾うこととなります。
議題(2) 放課後の過ごし方に関する調査について 事務局より、資料2「お子さんの放課後の過ごし方についてのアンケート調査」に基づき、放課後の過ごし方に関する調査について説明	
委員	・(資料2：2 ページ) 「放課後児童区クラブの今後の考え方」の中に、「校庭でのびのびと遊んだり運動したりすることができる」とあります。授業がある時は授業優先だと思いますが、このように書いて大丈夫でしょうか。 ・(資料2：3 ページ) 問7の3番に「小学校と一体的に」とありますが、何をイメージして一体的なのでしょう。
地域問題研究所	・小学校の余裕教室を活用することや、小学校敷地内にある建屋を活用することであり、例えば、南小学校であれば前者で、五条川小学校であれば後者です。何れも一体的ということですか。
委員	・一体的という言葉は文科省などが使っている言葉としてあるのですか。
地域問題研究所	・一体的利用という言い方をしています。
委員	・一体的という言葉が必要なのかどうかということです。 ・小学校の教員も関わるのかといったことも含め、誤解を招く表現ではないかと思えます。
事務局	・敷地内にあることによって、何かあった時、放課後児童クラブの職員と先生との連携が密にとれるメリットはあります。これを書くことで、親御さんには良い印象になると思います。 ・「校庭でのびのびと遊んだり」については、授業中にやらないということをやらないことを約束した上でのことであり、基本的には、放課後児童クラブなので授業

	<p>が終わった後ということになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一体的の部分は「建設したりして放課後児童クラブを開設するのがよい」に修正させていただきます。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校側としては、「校庭でのびのび」の部分が、保護者に過度の期待を持たせることになり、後々、問題が出るではと心配されたのだと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ (資料2：2ページ問5、問6) 放課後児童クラブの利用意向で、冬休みはないのですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期休業中という言葉は分かりづらいので、夏休み、冬休み、春休みの中で一番長い夏休みの利用意向を伺うことで、設問的に分かりやすくさせてもらいました。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ (資料2：1ページ) 問3で父親、母親、兄弟姉妹以外との同居はレアケースとして、挙げていないのでしょうか
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 父親、母親、兄弟姉妹以外と同居している場合は、4番にマルを打つことになります。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ (資料2：2ページ問5、問6) 放課後児童クラブの利用意向について、夏休みにカッコ書きで「冬休み、春休みを含む」とした方が分かりやすいのではないのでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 考えさせていただきます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休みの放課後児童クラブの利用時間はどのようになっているのでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、どれくらいの時間にするかは、お示しできない状況です。児童クラブの指導員はボランティアにやっていたくことになっていきますので、その方の都合等を勘案しながら、どれくらいやれるかを考えているところです。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ (資料2：1ページ) 問4の9、10、11番で「スーパーやコンビニなどで過ごしている」、「本屋・ビデオ店で過ごしている」、「カラオケ店やゲームセンターなどで遊んでいる」となっていますが、少し気になりました。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5年前に使った設問をそのまま使っています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特にそういったことを掘り起こしたいということではないのですね。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ (資料2：1ページ) 問4の12番に「水泳や体操、サッカーや野球などのスポーツの習い事に行っている」となっており、13番では「学習塾や、英会話やピアノなどの習い事に行っている」となっています。習い事を分ける意味はあるのでしょうか。回答数が3つまでとなっていますが、選択肢は14もありますので、習い事はまとめた方がよいのではないのでしょうか。
地域問題研究所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的に知りたいのは、2ページの部分ですが、日頃、どういった過ごし方をしているかを知った上で、2ページの内容を聞くほうがよいと考えたからです。切ってもらっても構いませんが、前回からの変化を見るのであれば、残した方がよいと思います。また、3つまでの選択については、よく行く場所として主な場所を挙げてほしいということです。 ・ スーパーやコンビニで過ごしていることなどを問うことについては、放課後の健全育成の観点から子どもの居場所を把握することで、子どもの居場所の確保に繋げるといった意図があります。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回のアンケートで、9、10、11番を選択した人はいましたか。
地域問題研究所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数的には少なかったと思いますが、ありました。こういった調査をすると分かることですが、岩倉に限らず、結構、放任されている方も見受けられます。 ・ 今回の調査の主旨は需要を求めることなので、こういった事柄を精緻に調べようとするものではありません。

	<ul style="list-style-type: none"> ・(資料2：1ページ問4) 習い事を12、13番に分けたのは、集計に際し、習い事をひとくくりにするのではなく、文系と体育会系に分けるといったことからです。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・(資料2：1ページ問4) 5年前と比べるのであれば、このままでよいと思います。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・(資料2：1ページ問4) 前回の比較も含め、このままでよいということですね。 (異議等なし) ・いただいたご意見については、アンケートに反映させていただきます。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・本日、委員の皆様には、事前にお配りした資料にお目通しいただき、忌憚のないご意見をいただきました。委員の皆様からのご意見は全て頂戴しましたので、これから修正作業に入っていきます。修正に際しては、会長と事務局にご一任いただき、決定後のアンケートを委員の皆様にお送りするといった形でよろしいでしょうか。 (異議等なし)
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・お気付きの事がありましたら、今日、明日中にいただきたいと思います。それを踏まえて修正を行ってまいります。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールとしては、11月の中旬くらいに各小学校、各園に願えるようにと考えております。
<p>議題(3) その他 委員からの意見等なし</p>	
<p>7. その他 事務局より次回の開催日について日程調整</p>	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度第2回岩倉市子ども子育て会議を閉会させていただきます。

以上